

38) 石田俊郎, 山田祐司, 森蔭俊彦: 多発性動脈炎と思われる症例にみられた網膜血管病変. 第22回北日本眼科学会, 1984, 7, 秋田.

39) 石田俊郎, 山田祐司: 富山医科薬科大学開院5年間の当科における網膜剝離手術の手術成績. 第10回富山眼科集談会, 1984, 8, 富山.

40) 石田俊郎, 中村泰久, 熊谷道朝: 涙道閉塞症例道内CT像. 第38回日本臨床眼科学会, 1984, 9, 札幌.

41) 石田俊郎, 中村泰久, 山田祐司: 先天性乳頭上硝子体囊腫の1例. 第11回富山眼科集談会, 1984, 11, 富山.

42) 浅香猶子, 中村泰久: 当科における内反症の手術成績について. 第9回富山眼科集談会, 1984, 4, 富山.

43) 浅香猶子: 社会保険高岡病院開院以来の眼科における手術成績. 第10回富山集談会, 1984, 8, 富山.

44) 桶本忠司, 中村泰久, 山下 泉: CT像上外眼筋肥厚をきたした疾患について. 第9回富山眼科集談会, 1984, 4, 富山.

45) 桶本忠司, 中村泰久, 窪田靖夫: 当科における鼻涙管閉塞に対する手術成績. 第24回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1984, 9, 富山.

46) 山本文昭, 桶本忠司, 窪田靖夫: 視覚性誘発電位の増強因子—衝動性眼球運動について—. 第22回日本神経眼科学会, 1984, 6, 札幌.

47) 山本文昭, 桶本忠司, 中村泰久: 外眼筋電図検査における釣針電極法の応用. 第38回北陸医学会眼科分科会, 1984, 9, 金沢.

48) 山本文昭, 桶本忠司, 窪田靖夫: 視覚性誘発電位の衝動性眼球運動による増強—視標の偏心率について—. 日本臨床視覚電気生理学学会, 1984, 11, 京都.

49) 山本文昭, 桶本忠司, 山田成明, 窪田靖夫: 衝動性眼球運動誘導視標に対する誘発脳波—飲酒による影響—. 第26回交通眼科学会, 1984, 12, 福井.

50) 尾崎真由美, 中村泰久: 眼合併症の認められた myotonic dystrophy の4例. 第9回富山眼科集談会, 1984, 4, 富山.

51) 尾崎真由美, 中村泰久: 骨破壊をきたした眼窩悪性腫瘍の1例. 第22回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1984, 5, 富山.

52) 尾崎真由美, 中村泰久, 石田俊郎: 眼合併症の認められた myotonic dystrophy の4例. 第22回北日本眼科学会, 1984, 7, 秋田.

53) 尾崎真由美, 山田祐司: 当科における糖尿病

患者の網膜光凝固術の成績について. 第10回富山眼科集談会, 1984, 8, 富山.

54) 尾崎真由美, 中村泰久: 過去5年間の当科における眼窩内壁骨折について. 第11回富山眼科集談会, 1984, 11, 富山.

55) 山田成明, 名古良輔, 中村泰久: 開閉瞼にともなう上眼瞼の動きの分析. 第24回富山眼科臨床カンファレンス, 1984, 9, 富山.

56) 山田成明, 中村泰久, 越生 晶, 金子良正: 涙囊結石症の1例. 第25回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1984, 10, 富山.

57) 山田成明, 山田祐司, 窪田靖夫: 当科におけるコンタクトレンズ処方, 装用の実態. 第11回富山眼科集談会, 1984, 11, 富山.

58) 氷見由美子, 石田俊郎: 当科における内斜視の手術量とその効果について. 第9回富山眼科集談会, 1984, 4, 富山.

59) 氷見由美子, 山本文昭, 中村泰久: 当科における下斜筋過動症に対する手術効果について. 第10回富山眼科集談会, 1984, 8,

◆ その他

1) 窪田靖夫: 網膜色素変性の成因と対策. 視覚障害者の広場, 日本短波放送, 1984, 5.

耳鼻咽喉科学

| | |
|------|------|
| 教授 | 水越鉄理 |
| 助教授 | 渡辺行雄 |
| 講師 | 大橋直樹 |
| 助手 | 小林英人 |
| 助手 | 麻生伸夫 |
| 助手 | 吉田行夫 |
| 助手 | 中川肇 |
| 助手 | 稲葉博司 |
| 助手 | 大井秀哉 |
| 助手 | 浅井正嗣 |
| 文部技官 | 武田精一 |

◆ 著書

1) 水越鉄理: めまい・平衡障害の中核・末梢鑑別. 「図説臨床耳鼻咽喉科講座」第II巻 神経耳科学, 松永 亨編, 86—87, メジカルビュー社, 1984

2) 水越鉄理: 小児とめまい. 「図説臨床耳鼻咽喉科講座」第II巻 神経耳科学, 松永 亨編, 164—165, メジカルビュー社, 1984.

3) 水越鉄理: 老人とめまい. 「図説臨床耳鼻咽喉科講座」第II巻 神経耳科学, 松永 亨編, 162—

163, メジカルビュー社, 1984.

4) 水越鉄理: 中枢性めまい, 有機水銀中毒症(水俣病)とめまい. 「図説臨床耳鼻咽喉科講座」第II巻, 神経耳科学, 松永 亨編, 112—113, メジカルビュー社, 1984.

5) 水越鉄理: 5) Hunt 症候群, 病因, 病態と治療方針. 「顔面神経障害—基礎と臨床—」小池吉郎他編, 224—238, 現代医療社, 1984.

6) 渡辺行雄: 平衡機能検査. 「臨床 ME ハンドブック」552, コロナ社, 1984.

◆ 原 著

1) Mizukoshi, K., Kobayashi, H., Ohashi, N. and Watanabe, Y.: Quantitative analysis of the visual vestibulo-ocular reflex using sinusoidal rotation in patients with peripheral vestibular disorders; Acta Otolaryngol. Suppl. 406: 178—181, 1984.

2) Sato, Y., Yamamoto, F., Shojaku, H. and Kawasaki, T.: Neural pathway from floccular caudal zone to vertical eye movements in cats—role of group y nucleus of vestibular nuclei—; Brain Res. 294: 375—380, 1984.

3) 麻生 伸, 吉田行夫, 渡辺行雄, 大野吉昭, 水越鉄理: 一側性内耳奇形の1症例. 耳喉科 56: 189—194, 1984.

4) 中川 肇, 星野知之, 芹沢泰博, 石田正人, 白石輝雄: 小児耳下腺血管腫の1例. 耳喉科 56: 257—261, 1984.

5) 水越鉄理, 将積日出夫, 渡辺行雄, 大橋直樹, 中川 肇, 浅井正嗣: 富山県におけるメニエール病患者の疫学調査研究(第2報). 前庭機能異常調査研究班昭和58年度報告書 52—62, 1984.

6) 水越鉄理, 黒川泰資, 渡辺行雄, 小林英人, 大橋直樹, 中川 肇: Jumbling 現象を呈した両側性前庭神経炎の1症例. 前庭機能異常調査研究班昭和58年度報告書 157—164, 1984.

7) 水越鉄理, 渡辺 勲, 松永 亨, 桧 学, 小松崎 篤, 高安劭次, 時田 喬, 田中恒男, 松岡 出: 末梢性耳性めまいに対する薬効評価の問題点(多施設二重盲検法による ATP の検定より). 前庭機能異常調査研究班昭和58年度報告書 121—129, 1984.

8) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大村明彦, 大橋直樹, 将積日出夫: 有機水銀中毒症例の OKN にみられるいわゆる Hyper nystagmus 所見に関する一考察(ランダム刺激 OKN との比較について). 昭和58年度水俣病に関する総合的研究報告書 113—116,

1984.

9) 小林英人, 水越鉄理, 渡辺行雄, 麻生 伸, 江塚 勇, 市川昭道: 特異な小脳橋角症候群を示した2例について. 臨床耳科 11: 128—129, 1984.

10) 麻生 伸, 将積日出夫, 小林英人, 吉田行夫, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 急激に聴・平衡障害を来たした小脳出血の1症例. 臨床耳科 11: 118—119, 1984.

11) 将積日出夫, 麻生 伸, 吉田行夫, 大井秀哉, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: Charcot-Marie-Tooth 病に感音難聴・腎障害を伴った1症例. 臨床耳科 11: 296—297, 1984.

12) 山本文昭, 佐藤 悠, 将積日出夫, 川崎 匡: 眼球運動に関連したネコ小脳片葉の機能的局在. Equilibrium Res. 43: 6—11, 1984.

13) 渡辺行雄, 沢 昌代, 水越鉄理: Galvanic Body Sway Test の新たな刺激方法について. Equilibrium Res. 43: 55—59, 1984.

14) 小林英人, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 中川 肇, 将積日出夫, 浅井正嗣, 沢 昌代: 視運動性前庭性動眼反射と中枢性平衡障害. Equilibrium Res. 43: 64—70, 1984.

15) 小林英人, 沢田克郎, 杉本敏昭: Gentamicin 筋注によると思われる両側前庭機能高度低下例(Jumbling 現象例). 耳鼻臨床 77: 1153—1160, 1984.

16) 中川 肇, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫, 浅井正嗣: 高齢者のめまい・平衡障害の実態について(第1報), 統計的検討. 耳鼻臨床 77: 1323—1329, 1984.

17) 麻生 伸, 武田精一, 大井秀哉, 吉田行夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: 正常および難聴耳における AP tuning curve. Audiology Japan 27: 487—488, 1984.

18) 長崎孝敏, 大井秀哉, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理: 他覚的聴力検査としての40Hz ERP と ABR の比較. Audiology Japan 27: 373—374, 1984.

19) 渡辺行雄, 麻生 伸, 大井秀哉, 今村純一, 武田精一, 水越鉄理: 聴性誘発反応のマイクロコンピュータ処理. Audiology Japan 27: 587—588, 1984.

20) 上田晋介, 麻生 伸, 吉田行夫, 大井秀哉, 長崎孝敏, 渋谷知子, 渡辺行雄, 水越鉄理: 耳鳴の治療効果についての検討. Audiology Japan 27: 451—452, 1984.

21) 浅井正嗣, 大橋直樹, 渡辺行雄, 将積日出

夫, 小林英人, 水越鉄理: 重心動搖検査と他の平衡機能検査の相関関係について. *Equilibrium Res.* **43**: 276—280, 1984.

22) 将積日出夫, 浅井正嗣, 長崎孝敏, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理, 石田俊郎, 窪田靖夫: 起立性頭蓋内低血圧とめまい患者. *Equilibrium Res.* **43**: 303—306, 1984.

23) 渡辺 勲, 大久保仁, 池田元久, 水越鉄理, 渡辺行雄: 前庭機能異常に関する疫学調査報告(続報) —とくに外来初診時における各種前庭機能—前庭機能異常調査研究班昭和58年度報告書 46—51, 1984.

24) 将積日出夫, 大橋直樹, 渡辺行雄, 稲葉博司, 浅井正嗣, 大井秀哉, 水越鉄理, 麓 耕平, 真保 俊, 藤巻雅夫: 食道癌に重複した喉頭悪性線維組織球腫の1症例. *日気食会誌* **35**: 325—328, 1984.

25) 大橋直樹, 浅井正嗣, 上田晋介, 今村純一, 渡辺行雄, 水越鉄理, 樋口昭子, 山崎光章, 高道昭一: CO₂レーザーの挿管チューブに対する安全性の検討. *日気食会誌* **35**: 361—365, 1984.

26) 中川 肇, 長崎孝敏, 渋谷知子, 浅井正嗣, 大井秀哉, 小林英人, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 当教室における難治性皮膚疾患に対する扁桃摘出術の現況について. *日扁桃誌* **23**: 118—122, 1984.

27) 渡辺行雄, 大橋直樹, 今村純一, 水越鉄理: ENG 記録のコンピュータ分析における諸問題. *日耳鼻* **87**: 1089—1095, 1984.

28) 渡辺 勲, 大久保仁, 池田元久, 水越鉄理, 渡辺行雄: 前庭機能異常に関する疫学調査報告(続報) —とくに外来初診例における各種前庭機能異常の比率について—. *耳鼻臨床* **77**: 2079—2085, 1984.

29) 将積日出夫, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 中川 肇, 浅井正嗣, 小林英人, 長崎孝敏: 富山県におけるメニエール病患者の疫学調査研究(第2報). *耳鼻臨床*, **77**: 2086—2096, 1984.

30) 水越鉄理, 渡辺 勲, 松永 亨, 松学, 小松崎 篤, 高安劭次, 時田 喬, 松永 喬, 田中恒男, 松岡 出: 末梢性耳性めまいに対する薬効評価の問題点—多施設二重盲検法による ATP の検定より—. *耳鼻臨床*, **77**: 2155—2163, 1984.

31) 黒川泰資, 水越鉄理, 渡辺行雄, 小林英人, 中川 肇, 大橋直樹: Jumbling 現象を呈した両側前庭神経炎の一症例. *耳鼻臨床* **77**: 2191—2198, 1984.

32) 水越鉄理, 将積日出夫, 浅井正嗣, 長崎孝敏, 黒川泰資, 渡辺行雄, 大橋直樹: 富山県におけるメニエール病の疫学調査研究. *日耳鼻* **87**: 1187, 1984.

33) 中川 肇, 浅井正嗣, 将積日出夫, 小林英人, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 脳血管障害の神経耳科学的検討. *日耳鼻* **87**: 1275, 1984.

34) 小林英人, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹: 視運動性振子様回転検査による視運動系と前庭系との相互関係. *日耳鼻* **87**: 1280—1281, 1984.

35) 麻生 伸, 大井秀哉, 吉田行夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: 蝸電図を用いたグリセロール・テスト. *日耳鼻* **87**: 1312, 1984.

36) 大橋直樹, 将積日出夫, 大村明彦, 小林英人, 浅井正嗣, 渡辺行雄, 水越鉄理: マイコン制御による総合的ランダム視刺激検査の臨床的意義. *日耳鼻* **87**: 1382, 1984.

37) 渡辺行雄, 水越鉄理, 大橋直樹, 小林英人, 吉田行夫, 麻生 伸, 中川 肇, 将積日出夫, 大井秀哉, 浅井正嗣, 今村純一, 武田精一, 沢 昌代: 当教室における神経耳科学諸検査に対するコンピュータ処理の現況. *日耳鼻* **87**: 1383, 1984.

38) 小林英人, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理, 市川昭道, 杉本敏昭: 小脳橋角症候群を呈した V-Z ウイルス感染症. *耳鼻喉科* **56**: 997—1001, 1984.

39) 麻生 伸, 武田精一, 大井秀哉, 吉田行夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: 蝸電図を用いたグリセロール・テスト. *Audiology Japan* **27**: 719—725, 1984.

40) 山本文昭, 佐藤 悠, 将積日出夫, 川崎 匡: 小脳片葉の機能的局在と前庭核 group y の役割. *あたらしい眼科* **1**: 231—233, 1984.

41) 奥田 稔, 形浦昭克, 榎本和子, 水越鉄理, 渡辺行雄, 他: 鼻アレルギーに対する抗アレルギー剤 KW-4354 (Oxatomide) の臨床的検討(二重盲検試験). *耳鼻展望* **27**: 386—405, 1984.

42) 中川 肇, 上田晋介, 浅井正嗣, 将積日出夫, 大井秀哉, 麻生 伸, 吉田行夫, 小林英人, 大橋直樹, 渡辺行雄: 舌腫瘍に対する YAG レーザーの効果. *医薬の門* **24**: 7—8, 1984.

43) 上田晋介, 大橋直樹, 小林英人, 麻生 伸, 中川 肇, 大井秀哉, 浅井正嗣, 長崎孝敏, 渡辺行雄, 水越鉄理, 大野吉昭: 鼻副鼻腔の非上皮性悪性腫瘍の当科における治療法とその成績. *医薬の門* **24**: 28—29, 1984.

44) 浅井正嗣, 大橋直樹, 小林英人, 吉田行夫, 中川 肇, 将積日出夫, 大井秀哉, 稲葉博司, 上田

晋介, 渡辺行雄, 水越鉄理: 上顎洞平滑筋肉腫の全身転移症例に対するシスプラチンの使用経験. 医薬の門 24: 37-38, 1984.

45) 大橋直樹, 将積日出夫, 今村純一, 武田精一, 渡辺行雄, 水越鉄理: 起立負荷による心電図R-R間隔の定量分析. 第4回医療情報学連合会論文集 4: 110-113, 1984.

46) 渡辺行雄, 浅井正嗣, 大橋直樹, 今村純一, 武田精一, 沢 昌代, 水越鉄理: 重心動揺検査の総合的処理システム. 第4回医療情報学連合会論文集 4: 142-143, 1984.

47) 麻生 伸, 渡辺行雄, 浅井正嗣, 水越鉄理: 瞬目時に生ずる眼球運動速度の定量的分析による眼筋機能の客観的判定の試み. Facial Nerve Res. 83-86, 1984.

48) Watanabe, Y., Ohashi, N., Kobayashi, H., Ohi, H., Sawa, M. and Mizukoshi, K.: Computer analysis of galvanic body sway test: Postural Reflex and Body Equilibrium III: 91-99, 1984.

◆ 総 説

1) 水越鉄理: 薬物による感覚器障害, [1] 平衡覚障害. 月刊薬事 26: 1703-1709, 1984.

2) 松永 喬, 水越鉄理: めまいと血圧. Equilibrium Res. 43: 146-148, 1984.

◆ その 他

1) 水越鉄理: 耳鼻臨床, 編集余談. 耳鼻臨床77: 170, 1984.

2) 水越鉄理: 耳鼻臨床, 編集余談. 耳鼻臨床1564, 1984.

◆ 学会報告

1) 水越鉄理, 将積日出夫, 浅井正嗣, 長崎孝敏, 黒川泰資, 渡辺行雄, 大橋直樹: 富山県におけるメニエール病の疫学調査研究, 第85回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1984, 5, 東京.

2) 大橋直樹, 将積日出夫, 大村明彦, 小林英人, 浅井正嗣, 渡辺行雄, 水越鉄理: マイコン制御による総合的ランダム視刺激検査の臨床的意義について. (ビデオ演題) 第85回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1984, 5, 東京.

3) 中川 肇, 浅井正嗣, 将積日出夫, 小林英人, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 脳血管障害例に対する神経耳科のアプローチ. 第85回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1984, 5, 東京.

4) 小林英人, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹: 視運動性振子様回転検査による視運動系と前庭系との相互関係について. 第85回日本耳鼻咽喉科学会総

会, 1984, 5, 東京.

5) 麻生 伸, 大井秀哉, 吉田行夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: 蝸電図を用いたグリセロール・テスト. 第85回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1984, 5, 東京.

6) 渡辺行雄, 大橋直樹, 麻生 伸, 大井秀哉, 今村純一, 武田精一, 水越鉄理: 当教室における神経耳科学的諸検査に対するコンピュータ処理の現況 (ビデオ演題). 第85回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1984, 5, 東京.

7) 黒川泰資, 小林英人, 中川 肇, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 両側前庭神経炎の1症例. 第2回日耳鼻富山県地方部会, 1984, 3, 富山.

8) 小林英人, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹: 視運動前庭動眼反射の臨床的意義. 第2回日耳鼻富山県地方部会, 1984, 3, 富山.

9) 大橋直樹, 将積日出夫, 浅井正嗣, 小林英人, 渡辺行雄, 水越鉄理: めまい患者におけるR-R間隔の測定. 第2回日耳鼻富山県地方部会, 1984, 3, 富山.

10) 麻生 伸, 大村明彦, 稲葉博司, 渡辺行雄, 水越鉄理: 副鼻腔原発と考えられた small cell carcinoma の1症例. 第2回日耳鼻富山県地方部会, 1984, 3, 富山.

11) 大村明彦, 渡辺行雄, 水越鉄理, 小林英人, 将積日出夫, 今村純一: ランダム視刺激による視運動性眼振検査について. 第3回日耳鼻富山県地方部会, 1984, 11, 富山.

12) 上田晋介, 麻生 伸, 吉田行夫, 大井秀哉, 渋谷知子, 長崎孝敏: 耳鳴に対する治療効果 (鼓室内薬物注入を中心に). 第3回日耳鼻富山県地方部会, 1984, 11, 富山.

13) 吉田行夫, 沢田克郎, 麻生 伸: 特発性鼻中隔膿瘍症例, 第3回日耳鼻富山県地方部会, 1984, 11, 富山.

14) 大井秀哉, 大橋直樹, 中川 肇, 吉田行夫: BLOM-SINGER voice prosthesis および tracheostoma valve の使用経験, 第3回日耳鼻富山県地方部会, 1984, 11, 富山.

15) 稲葉博司, 中川 肇, 上田晋介: 扁桃により改善がみられた acute generalized pustular bacterid の一例. 第3回日耳鼻富山県地方部会, 1984, 11, 富山.

16) 黒川泰資, 上田晋介, 渋谷知子, 麻生 伸, 水越鉄理: シンセサイザーを使用した masking 法の試み. 第236回日耳鼻北陸地方連合会, 1984, 6, 福井.

17) 長崎孝敏, 麻生 伸, 小林英人, 浅井正嗣,

渡辺行雄, 水越鉄理: 中枢性顔面神経麻痺を来した2症例. 第236回日耳鼻北陸地方連合会, 1984, 6, 福井.

18) 中川 肇, 将積日出夫, 水越鉄理, 石田正人, 野末道彦, 白石輝雄: 聴神経腫の非典型例診断の問題点. 第237回日耳鼻北陸地方連合会, 第38回北陸医学会耳鼻科分科会, 1984, 9, 金沢.

19) 稲葉博司, 上田晋介, 長崎孝敏, 今村純一: 慢性扁桃炎の病理学的問題点. 第237回日耳鼻北陸地方連合会, 第38回北陸医学会耳鼻科分科会, 1984, 9, 金沢.

20) 長崎孝敏, 大井秀哉, 麻生 伸, 吉田行夫, 上田晋介, 渋谷知子: 他覚的聴力域値検査としての40 Hz ERPの限界について. 第238回日耳鼻北陸地方連合会, 1984, 12, 金沢.

21) 大村明彦, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫, 水越鉄理: ランダム視刺激による視運動性眼振の臨床的意義. 第238回日耳鼻北陸地方連合会, 1984, 12, 金沢.

22) 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: ランダムETTの試み. 第19回日耳鼻新潟県地方部会, 1984, 12, 新潟.

23) 中川 肇, 小林英人, 大橋直樹, 渡辺行雄: 高齢者にみられた視運動性眼振の正常限界. 第238回日耳鼻北陸地方連合会, 1984, 12, 金沢.

24) 渡辺行雄, 浅井正嗣, 大橋直樹, 小林英人, 沢 昌代, 水越鉄理: 重心動揺周波数分析の臨床的意義について—軌跡長との比較を中心に—. 第19回日耳鼻新潟県地方部会, 1984, 12, 新潟.

25) 水越鉄理: 特別講演, 視覚系と前庭系の相互関係に対する神経耳科学的アプローチ. 第19回日耳鼻新潟県地方部会, 1984, 12, 新潟.

26) 渡辺行雄: シンポジウム(2)“メニエール病をめぐる諸問題”(1)メニエール病の疫学症状調査について. 第43回日本平衡神経科学会, 1984, 9, 富山.

27) 大村明彦, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫, 水越鉄理: ランダム視刺激による視運動性眼振(病的症例の検討). 第43回日本平衡神経科学会, 1984, 9, 富山.

28) 将積日出夫, 水越鉄理, 大橋直樹, 渡辺行雄, 寺蘭公雄: 正常人の視運動性後眼振の検討—特に velocity storage mechanism について—. 第43回日本平衡神経科学会, 1984, 9, 富山.

29) 小林英人, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹: 振り様回転検査と視運動性眼振との相互関係について. 第43回日本平衡神経科学会, 1984, 9, 富山.

30) 石黒千代子, 大橋光伸, 渡辺行雄, 水越鉄理:

微細脳機能障害児並びに自閉症児の平衡機能障害と感覚統合療法による改善について. 第43回日本平衡神経科学会, 1984, 9, 富山.

31) 大橋直樹, 将積日出夫, 浅井正嗣, 中川肇, 小林英人, 渡辺行雄, 水越鉄理: ランダムETTの試み. 第43回日本平衡神経科学会, 1984, 9, 富山.

32) 今村純一, 渡辺行雄, 水越鉄理, 大橋直樹, 沢 昌代, 坂井孝志: 汎用マイクロコンピュータを使用したENG検査専用分析機. 第43回日本平衡神経科学会, 1984, 9, 富山.

33) 山本文昭, 佐藤 悠, 将積日出夫, 川崎 匡: ネコ前庭核 group y から動眼神経核への投射について. 第43回日本平衡神経科学会, 1984, 9, 富山.

34) 中川 肇, 小林英人, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理, 石黒千代子: 高齢者のめまい. 平衡障害(第2報) 高齢者における平衡機能検査の正常所見(予報的報告). 第43回日本平衡神経科学会, 1984, 9, 富山.

35) 大井秀哉, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理, 杉本敏昭: 加齢と心電図R-R間隔. 第43回日本平衡神経科学会, 1984, 9, 富山.

36) 浅井正嗣, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 中川 肇, 将積日出夫, 水越鉄理: 重心動揺軌跡長と周波数分析の比較検討. 第43回日本平衡神経科学会. 1984, 9, 富山.

37) 渡辺行雄, 麻生 伸, 大井秀哉, 今村純一, 武田精一, 水越鉄理: 聴性誘発反応のマイクロコンピュータ処理. 第29回日本オージオロジー学会, 1984, 10, 長崎.

38) 上田晋介, 麻生 伸, 吉田行夫, 大井秀哉, 渋谷知子, 渡辺行雄, 水越鉄理: 耳鳴の治療効果についての検討. 第29回日本オージオロジー学会, 1984, 10, 長崎.

39) 長崎孝敏, 大井秀哉, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理: 他覚的聴力域値検査としての40 Hz ERPとABRとの比較. 第29回日本オージオロジー学会, 1984, 10, 長崎.

40) 麻生 伸, 武田精一, 大井秀哉, 吉田行夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: 正常および難聴児におけるAP tuning curve. 第29回日本オージオロジー学会, 1984, 10, 長崎.

41) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 将積日出夫, 大村明彦: 水俣病の視運動性眼振所見に対する一考察(random OKN-testより). 第12回水俣病の総合的研究会, 1984, 2, 東京.

42) 水越鉄理, 将積日出夫, 渡辺行雄, 大橋直

樹, 中川 肇, 浅井正嗣: 富山県におけるメニエール病患者の疫学調査研究(第2報). 昭和58年度前庭機能異常調査研究班総会, 1984, 2, 京都.

43) 水越鉄理, 黒川泰資, 小林英人, 中川 肇, 大橋直樹: Jumbling 現象を示した両側性前庭神経炎の1症例. 昭和58年度前庭機能異常調査研究班総会, 1984, 2, 京都.

44) 水越鉄理, 渡辺 勲, 松永 亨, 桧 学, 小松崎 篤, 高安劭次, 時田 喬, 松永 喬, 田中恒男: 末梢性耳性めまいに対する薬効評価の問題点(他施設2重盲検法によるATPの検定より). 昭和58年度前庭機能異常調査研究班総会, 1984, 2, 京都.

45) 渡辺 勲, 大久保 仁, 池田元久, 水越鉄理, 渡辺行雄: 前庭機能異常に関する疫学調査報告(続報)とくに外来初診時における各種前庭機能. 昭和58年度前庭機能異常調査研究班総会, 1984, 2, 京都.

46) 石黒千代子, 水越鉄理, 渡辺行雄, 鈴木祐吉, 佐藤 保: クレチン症における平衡機能障害の他覚的検査. 昭和58年度クレチン症に関する研究班総会, 1984, 2, 東京.

47) 石黒千代子, 大橋光伸, 水越鉄理: 微細脳機能障害並びに自閉症児の平衡機能障害と感覚統合療法による改善について. 第26回日本小児神経学会, 1984, 6, 大阪.

48) 小林英人, 大橋直樹, 渡辺行雄, 今村純一, 渋谷知子, 水越鉄理: シスプラチンによる内耳障害, 特に前庭機能障害について. 第12回日本臨床耳科学会, 1984, 11, 東京.

49) 浅井正嗣, 渡辺行雄, 麻生 伸, 水越鉄理: 瞬目時に生ずる眼球運動速度の定量的分析(眼輪筋機能の客観的測定への試み). 第22回日耳鼻中部地方連合会, 1984, 7, 名古屋.

50) 将積日出夫, 浅井正嗣, 小林英人, 大村明彦, 麻生 伸, 大橋直樹, 渡辺行雄: Fisher 症候群の1症例—神経耳科学的所見を中心に—. 第22回日耳鼻中部地方連合会, 1984, 7, 名古屋.

51) 中川 肇, 上田晋介, 浅井正嗣, 将積日出夫, 大井秀哉, 麻生 伸, 小林英人, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 舌腫瘍に対するYAGレーザーの効果. 第3回北陸頭頸部腫瘍懇話会, 1984, 7, 金沢.

52) 上田晋介, 大橋直樹, 小林英人, 麻生 伸, 中川 肇, 大井秀哉, 浅井正嗣, 長崎孝敏, 渡辺行雄, 水越鉄理, 大野吉昭: 鼻副鼻腔の非上皮性悪性腫瘍の当科における治療法とその成績. 第3回北陸

頭頸部腫瘍懇話会, 1984, 7, 金沢.

53) 浅井正嗣, 大橋直樹, 小林英人, 吉田行夫, 中川 肇, 将積日出夫, 大井秀哉, 稲葉博司, 上田晋介, 渡辺行雄, 水越鉄理: 上顎洞平滑筋肉腫の全身転移症例に対するシスプラチン使用経験. 第3回北陸頭頸部腫瘍懇話会, 1984, 7, 金沢.

54) 大橋直樹, 将積日出夫, 浅井正嗣, 小林英人, 渡辺行雄, 水越鉄理: めまい・平衡障害例における心電図R-R間隔の自動測定. 第46回耳鼻咽喉科臨床会総会, 1984, 7, 大阪.

55) 上田晋介, 大橋直樹, 中川 肇, 浅井正嗣, 長崎孝敏, 渡辺行雄, 水越鉄理: 鼻副鼻腔の非上皮性悪性腫瘍の当科における治療法とその成績. 第8回日本頭頸部腫瘍学会, 1984, 6, 久留米.

56) 中川 肇, 上田晋介, 浅井正嗣, 将積日出夫, 大井秀哉, 麻生 伸, 小林英人, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 舌腫瘍に対するYAGレーザーの効果. 第8回日本頭頸部腫瘍学会, 1984, 8, 久留米.

57) 大橋直樹, 中川 肇, 浅井正嗣, 上田晋介, 渡辺行雄, 水越鉄理: 進行癌(stage III, IV)に対するCisplatin+PEP+Tegafu 療法での治療経験. 第8回日本頭頸部腫瘍学会, 1984, 8, 久留米.

58) 長崎孝敏, 麻生 伸, 小林英人, 浅井正嗣, 渡辺行雄, 水越鉄理: 中枢性顔面神経麻痺を来した2症例. 第7回日本顔面神経研究会, 1984, 7, 東京.

59) 麻生 伸, 渡辺行雄, 浅井正嗣, 水越鉄理: 瞬目時に生ずる眼球運動速度の定量的分析による眼輪筋機能の客観的判定の試み. 第7回日本顔面神経研究会, 1984, 7, 東京.

60) 上田晋介, 麻生 伸, 吉田行夫, 大井秀哉, 長崎孝敏, 渋谷知子, 渡辺行雄, 水越鉄理: リドカインとデキサメサゾンによる耳鳴治療効果の検討. 第4回耳鳴研究会, 1984, 12, 東京.

61) 大井秀哉, 大橋直樹, 中川 肇, 吉田行夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: 当科におけるBLOM-SINGER voice prosthesis およびtracheostoma valveの使用例. 第36回日本気管食道科学会, 1984, 11, 東京.

62) 中川 肇, 長崎孝敏, 稲葉博司, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 篩骨洞原発の横紋筋肉腫と思われる1症例. 第23回日本鼻科学会, 1984, 11, 東京.

63) 大村明彦, 水越鉄理, 渡辺行雄, 麻生 伸, 将積日出夫: 髄膜炎を反復したmeningoencephalocoeleの1症例. 第23回日本鼻科学会, 1984,

11, 東京.

64) 吉田行夫, 沢田克郎, 水越鉄理: 特発性鼻中隔膿瘍の1例. 第23回日本鼻科学会, 1984, 11, 東京.

65) 中川 肇, 稲葉博司, 上田晋介, 浅井正嗣, 大橋直樹, 水越鉄理, 渡辺行雄, 小泉富美朝, 井上久美子: 扁桃により改善がみられた acute generalized pustular bacterid の1例. 第24回扁桃研究会, 1984, 11, 東京.

66) 大橋直樹, 将積日出夫, 今村純一, 武田精一, 渡辺行雄, 水越鉄理: 起立負荷による心電図 R-R 間隔の定量分析. 第4回日本医療情報学会, 1984, 11, 東京.

67) 渡辺行雄, 浅井正嗣, 大橋直樹, 今村純一, 武田精一, 沢 昌代, 水越鉄理: 重心動揺検査の総合的处理システム. 第4回日本医療情報学会, 1984, 11, 東京.

68) 水越鉄理: めまいの診断と治療—神経耳科医よりみた一. 金沢市医師会学術研修講座, 1984, 5, 金沢.

69) 水越鉄理: 神経耳科医よりみためまい・平衡障害. 第13回中部脳障害研究会, 1984, 5, 名古屋.

70) 水越鉄理: 耳鼻咽喉科よりみた水俣病. 東京大学耳鼻咽喉科集談会, 1984, 11, 東京.

71) 渡辺行雄: 眼振波形認識方法. 第1回平衡神経科領域におけるコンピュータ処理研究会, 1984, 9, 富山.

72) 大橋直樹: コンピュータによる刺激制御. 第1回平衡神経科領域におけるコンピュータ処理研究会, 1984, 9, 富山.

73) 今村純一: マイクロコンピュータの平衡機能検査への導入問題点. 第1回平衡神経科領域におけるコンピュータ処理研究会, 1984, 9, 富山.

74) 渡辺行雄, 大村明彦, 将積日出夫, 大橋直樹, 水越鉄理: ランダム視刺激による視運動眼振検査. 第18回日耳鼻新潟県地方部会, 1984, 6, 新潟.

泌 尿 器 科 学

| | | |
|------|-----|-----|
| 教 授 | 片 山 | 喬 |
| 助 教 | 中 田 | 瑛 浩 |
| 講 師 | 秋 谷 | 徹 |
| 助 手 | 嘉 川 | 宗 秀 |
| 助 手 | 石 川 | 宗 成 |
| 助 手 | 小 池 | 明 宏 |
| 助 手 | 寺 田 | 為 義 |
| 助 手 | 梅 田 | 慶 一 |
| 助 手 | 風 間 | 泰 蔵 |
| 助 手 | 古 田 | 秀 勝 |
| 助 手 | 酒 本 | 孝 史 |
| 助 手 | 河 野 | 典 昌 |
| 文部技官 | 山 崎 | 典 昌 |

◆ 著 書

- 1) 片山 喬: 男性不妊症 C. 不妊症の治療
1) 検査データからみた治療の進め方. 2) 造精促進の薬物療法. 「新臨床泌尿器科全書 8 巻 B」市川篤二他監修, 36—69, 金原出版, 1984.
- 2) 中田瑛浩: 副腎腫瘍. 「今日の治療指針」石山俊次他編, 399—400, 医学書院, 1984.
- 3) 中田瑛浩: 副腎の血管系. 「泌尿器科診療」町田豊平他編, 1035の4—1035の5, 六法出版, 1984.
- 4) 中田瑛浩: 副腎腫瘍の診断. 「泌尿器科診療」町田豊平他編, 1035の16—1035の21, 六法出版, 1984.
- 5) 中田瑛浩: 副腎腫瘍の手術. 「泌尿器科診療」町田豊平他編, 1035の12—1035の15, 六法出版, 1984.
- 6) 中田瑛浩: 泌尿器科的損傷・尿道. 「国試からみた泌尿器科学 (追加版)」北川龍一, 松本 泰編, 6, 中外医学社, 1984.
- 7) 中田瑛浩: 副腎疾患. 半陰陽. 「国試からみた泌尿器科学 (追加版)」北川龍一, 松本 泰編, 9—11, 中外医学社, 1984.

◆ 原 著

- 1) Nakada T.: Urinary kallikrein excretion in patients with primary aldosteronism: Differentiation of aldosterone producing adenoma from idiopathic adrenal hyperplasia. Urol. Internat. **39**: 40—45, 1984.
- 2) Nakada T., Koike H., Katayama T., Watanabe H. and Yamori Y.: Increased adrenal epinephrine and norepinephrine in spontaneously